



森のなかま

2025年 5月号

NO. 203 (継続348号)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp>

発行人 黒川 敏史

〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号 TEL046-297-0301・Fax046-297-0302

【自然観察部会活動】自然観察会

開催日：令和 7 年 3 月 8 日（土） 9：30 ～ 13：00 曇り時々小雨・雪

場 所：早春の草花を楽しむ尾根歩き 弘法山

参加者：大人 18 名

主 催：かながわトラストみどり財団

財 団：榎 様、斉藤 様

講 師：小池⑫、牧石⑭、久次米⑯

行程：小田急線秦野駅 9：15 集合 バス移動（9：35 発）⇒弘法山入口下車、加茂神社にてオリエンテーション（みどり大使紹介）、3 班に分かれ班行動⇒弘法山周辺散策⇒権現山周辺散策⇒浅間山駐車場⇒名水はたの富士見の湯⇒末広小学校バス停（12:46）⇒小田急線秦野駅 13：00 解散

* 当日の天候を考慮しコース変更、午前中の活動となりました。

弘法大師が修行したことから名付けられたという弘法山は秦野市内の東部に位置する標高 235m の山です。浅間山、権現山とともに「弘法山公園」と呼ばれる吾妻山を加えて縦走を楽しめるコースです。

今回は雨または雪の予報が出ているため上記の行程に変更されました。

弘法山山頂には大師堂、大師座像、乳の井戸、鐘楼があります。天候に恵まれますと展望テラスから東京・横浜方面、三浦半島、相模湾が見られます。また弘法山公園内には秀麗な富士山をみられるところが数カ所あります。



加茂神社から弘法山周辺のなだらかな斜面には銀杏、梅、八重桜（塩づけ用）、柑橘類などが栽培されています。これから耕すところも見られます。曇天、時々小雨・小雪の中自然観察へ。

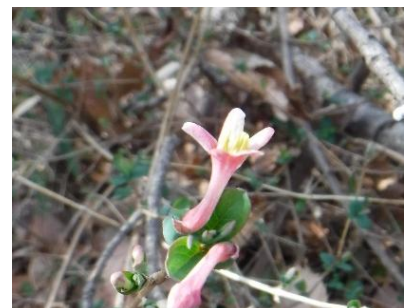
歩きだし間もなく足もとにホトケノザ、オオイヌノフグリ、ヒメオドリコソウ、クサイチゴの白い花などが咲いていました。早咲きの桜にメジロが 3 羽、花の間を飛びかい蜜を吸っている様子を観察したりして、みつけた「小さな春」を伝えあい、楽しみました。雑木林のなかのセラピーロード、体にやさしい歩道のやわらかさ。ウグイスカグラの愛らしい桃色の花、イロハモミジやアジサイの冬芽を紹介すると「えっ」「はじめてみました」の声。春を待つ樹木の様子に感動の一瞬です。自然のさまざまな現象に働きかけられ豊かな時間です。鹿の食痕（アオキ）や植栽木を守るために植生保護策が取り付けられているのを見て動物たちの生活領域であることを確認しました。

自然観察の後半、高齢の男性がどんどん先に進んで行くので飽きたのかなあ・・・と思っていたところ、フキノトウがあったので「フキノトウが・・・」と声をかけるとその男性が「わぁ～かわいい～春だね～」とじっとフキノトウを見ていました。ひとりひとりいろいろな感動があることを知らされたひとコマでした。

悪天候もなんのその、この日のこの時にしかできない体験ができたことでしょう。

体調をくずされた方もなく無事終わることができました。

付記 予定ルートの中間あたり東電の鉄塔の反対側、雑木林のなかの樹木に新鮮な熊の爪痕が残されています（2 月下旬に付けられたよう）。会員の皆様、ご注意ください。



（記 久次米 久美子⑯、写真 小池 哉⑫、牧石 稔⑭）

【第 3 回 やどりきの森へ行こう！ ～水源林のミツマタ群生鑑賞～】

日時：令和 7 年 3 月 15 日（土）8:40～14:30 曇り

参加者：35 名

インストラクター：L 水口⑨、波多野⑨、上宮田⑪、古舘⑬、國弘⑭、河西⑮、内田⑰、高谷⑰

やどりき水源林には、かつて和紙の原料として植林されたミツマタが野生化して形成された群落があり、3 月中旬に黄色い小さな雪洞（ぼんぼり）のような花が咲き乱れ、その愛らしい姿と香りで多くの人を魅了します。恒例のミツマタ鑑賞会イベントは、このミツマタ群落と早春のやどりき水源林の自然をインストラクターのガイドで満喫していただくものです。

参加者は新松田駅近くのバス操車場から、普段はバスでは行けないやどりき水源林の入り口まで延長バスで移動。バスを降りると赤橋を左手に見ながら水源林に入り、集会棟横の広場でオリエンテーションをしました。前日とは打って変わって寒い曇りの日でしたが、元気に準備運動して 6 班に分かれて鑑賞ツアーを開始しました。



林道コースを自然観察しながら成長の森のミツマタ群落を目指しました。早春の水源林では冬芽が葉や花に展開し始め、ダンコウバイやキブシの黄色い花、水色のヤマドリソウ、赤いイソギンチャクのようなツノハシバミの雌花序、房のようなフサザクラの雄しべなどが春の訪れを感じさせてくれました。耳を澄ますとミソサザイの囀りが響き、沢沿いの土中からは「グッ、グッ」とタゴガエルの声。川原の水たまりにはヤマアカガエルのオタマジャクシも見つけることができました。シカ、ムササビなどの動物の残した糞、食痕などのフィールドサインを見ることができ、この森に様々な生き物が暮らしていることが分かりました。

目的地のミツマタは五分咲き程度でしたが、それでも群生地の眺めは壮観で、参加者の皆さんはその姿と香りを存分に楽しまれていました。広場に戻り昼食後は、やどりき水源林に暮らす動物のミニ講座。シカの頭骨や実物大のムササビのぬいぐるみを使った楽しく分かりやすい解説に皆さんは聞き入っていました。参加者の方からは、「ミツマタが素晴らしかった！」「ミツマタ以外の植物や動物、丹沢の成り立ちなど幅広く学べて楽しかった」「水源林について知ることができた」「季節を変えてまた来たい」などの感想をいただきました。

来年（2026 年）も 3 月 15 日（日）に実施予定です。是非ご参加ください！

詳細情報は HP（[参加者募集](#)）から！



（記 河西 静夫⑮、写真 高谷 秀史⑰）

【森林文化部会】竹細工教室初級編開催

＝竹ひごの六つ目編みに挑戦＝

日時：令和 7 年 2 月 23 日（日）12：15～16：30

場所：大和市泉の森 『しらかしの家』 1F 多目的ルーム

材料費：個人負担 @500 円

参加者：長尾⑪、島崎⑱、藤巻⑱、内野⑨、菊地①、田中(和)⑱、鈴木(淳)⑭、渡邊⑱、伊藤⑱、岡村⑯、野牛⑧、小国⑰、内田(祐)⑰、藤井(世)⑭、広浜⑰、久次米⑯、石井(裕)⑮(※受付順)

18 期生 5 名を含む 17 名の森林インストラクターが参加して竹細工教室初級編が行われました。教室の企画意図としては、活動の際に発生する竹材を一部でも利用し、生活の中に取り込みたいという思いが有り、竹細工の教室を連続して開催しています。今回は、初級編として、平面で作る六つ目編みの竹細工の作品に挑戦して編み方を覚えてもらう企画です。将来的には、ネットワーク活動での竹林整備後の竹細工の一つとして加えたいと思っていますが、その際に指導できるインストラクター養成の意味合いも兼ねています。

参加者の中には、2 回目 3 回目の参加者もいて、平面から籠形状へ立ち上げるところにも挑戦してもらいました。



全体風景

平面形状は、参加者全員がほぼマスターできた点で成果が有りました。今回説明員 1 名では 17 名の対応は厳しかったので、マスターできた人が多かったのは期待できます。一方、立ち上げ部に関しては平面の六角形から五角形と六角形の組み合わせで立ち上げていくので、難易度が上がり難しいということが再確認できました。個人個人への細やかな対応が必要でした。

また、現在ネットワーク活動での材料は活動企業調達となっているので、一般的に購入できることが要求されるなど課題も見えてきました。

今後は、竹ひご作りや、別のアイテム(タガの技術の竹細工)の挑戦も進めていきます。



作業中

(記 真貝 勝⑪、写真 末原 興一⑮)

コラム NHK 首都圏ネットワーク「オシたび」で森林探訪コースを 9 期内野さんがご案内！

4 月 4 日（金）に NHK 首都圏ネットワークで放送された新年度 1 回目の「オシたび」。安藤キャスターが、安藤さんぽ「多摩丘陵で“春”探し」で、小田急はるひ野駅から黒川駅までの約 1 時間のハイキングコースを 9 期内野ミドリさんの案内で歩きました。さくらの広場では早咲きの桜に心しみ、お花見を楽しむ人々とのふれあひも。多摩よこやまの道では、多摩丘陵ののどかな里山の自然や、環境保全に取り組むボランティア（多摩グリーンボランティア森林会）の方々の活動に触れることができました。旅のごほうびは、内野さん手作りの草餅と、地元のいちご農家でいちご狩り。最後は地元で護国豊穰を祀る汁守神社にお参りし、旅を締めくくりました。お茶の間に春の息吹が届く、盛りだくさんの内容でした！

エピソード

井出さん：この発端は、学生時代のクラブの OB 会（新年会）でのことでした。最近登っている山の話になり、私は森林探訪ガイドブックのコース調査のため、主に神奈川の低山を登っていると話しました。すると、NHK に勤めている後輩が「ぜひうち（NHK）とコラボしよう」と提案してくれ、「ぜひやろう！」ということでその場を後にしました。

その後、3 月中旬に番組担当のディレクターから連絡があり、具体的に話が進み始めました。

内野さん：初対面の NHK ディレクターから伺った企画く・イチオシの場所・地元の方と交流・名産品を食べる・神社で祈願・人混みでない場所。＞森林探訪の案内ではなくて面喰らいました。1 月の森林探訪で好評だった森林探訪ガイドブック No.18 の「黒川谷ツ公園とよこやまの道」ならと、試し刷りの原稿を広げて勧めました。コースの決定はロケ 2 日前、ロケ当日はお花見日和で、地元の方や保育園児と交流ができました。イチオシの見返り峠では、黄砂か春霞で関東山地が見えず写真で案内しました。放送では前夜データ送付の依頼があった写真が映りました。サプライズだった下見で井出さんと摘んだヨモギの草餅とクロモジの楊枝、クロモジ茶が映りました。6 時間のロケは 7 分に編集されましたが、紹介したコースが情報満載で放送されてホッとするとともに、よい経験ができたことに感謝しています。



森林探訪ガイドブック ～歩いてみよう！かながわの森林～

2019 年 2 月に神奈川県内、相模川以西の「森林探訪ガイドブック」を出版した時から、いつか、相模川以东も森林探訪ガイドブックにまとめたいと温めていました。この度、自然を愛する多くの森林インストラクターの力を結集して、「相模川以西」（改訂版）と「相模川以东」の 2 冊を同時に出版しました。動植物の写真、地図、標高差図、ミニ動画ガイド付きの神奈川の森林を訪ねる 30 コースです。森歩きのお伴に、また自然を楽しむ読み物としてもお勧めです。ご購入は会のホームページ（forest-kanagawa.jp/index.html）より承ります。



森林探訪のガイドブックを手に
左から内野さん⑨、安藤キャスター、井出さん①

（記 井出 恒夫①、内野 ミドリ⑨、河西 静夫⑮、写真 井出 恒夫①）

活動短 信

今回の掲載は R7 年 3 月 9 日から R7 年 3 月 14 日分です。寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。

5 月(皐月)(旧暦 4 月卯月)の

二十四節気、七十二候、鳥こよみ

立夏 5/5 小満 5/21、蛙始鳴(かわずはじめてなく 5/5~5/9)。野原や田んぼで蛙が鳴き始めるころ。**鳥こよみ:** 夏鳥シーズン到来! 「ピリリー」と聞こえる鳴き声からサンショウクイは「サンショウは小粒でもピリリと辛い」を連想して命名されました。サンショウクイの巣は、木のコブに似せて、ウメノキゴケをクモの巣で絡めて一枚ずつ貼り付けて作る芸術的な出来栄え。とても真似できません・・・

活動短信への投稿概略フォーマットと略語の説明

活動短信の投稿内容を変更します(5月号発行以降)

以下のフォーマットに沿って記載をお願いします。
本文と写真は作成せずに送付してください。送付先は最終ページに掲載。

◆ 活動団体・活動名 等

日 日付: 令和 x 年 x 月 x 日(曜日) 時間、天気
場 場所 (例: 相模原市緑区 長竹承継分収林)
参 参加者 人数
県 例 神奈川県 環境農政局 緑政部
水源環境保全課 水源の森林推進グループ
財 (公財) かながわトラスみどり財団、**看** 看護師
ス 例 小田原市森林組合 XX 様
例 川崎市公園緑地協会・XX 様
イ インストラクター① (○数字: 期) **研** 研修枠
活 活動内容 例 午前 間伐、午後 クラフトと自然観察

◆ アコム株式会社様 森林保全活動

日 令和 7 年 3 月 9 日 (日) 10:15~14:45 快晴
場 県立 21 世紀の森
参 19 名
県 神奈川県水源環境保全課 水源事業グループリーダー 村松様
イ L 森本⑰、西出⑫、牧石⑭、鈴木(圭)⑱

前日の雪天から一転、朝から晴天となった 21 世紀の森にて、アコム様様の森林保全活動の間伐作業を 6~7 名ずつ 3 班に分かれて行いました。

今回は初参加者が 4 名おり、午前は、復習を兼ねて間伐作業の基本手順および注意点を確認した後、各班 1 本ずつ間伐作業を進めました。

午後は、インストラクターが見守る中、参加者が中心となって間伐作業を実施し、初参加者がいない 1 班は 2 本、2 班と 3 班はそれぞれ 1 本の間伐しました。間伐した木は、等高線に水平に土留めとして置き、枝払いした枝は同じ方向に向けて山にならないように置いたことを確認し

て作業終了しました。怪我無く、ヒヤリハット事項も無く、また他の木を傷つけることや掛かり木になることもなく間伐できました。

アコム様様は、朝の道具準備から作業後の道具の整備/片付けまで、みなさんが協力し合ってスムーズに活動できていました。

森林保全活動の回数が多く、作業の技量や質も向上してきており、今後のアコム様様の活動に期待が膨らむ活動成果でした。



(記 鈴木 圭一⑱、写真 鈴木 圭一⑱ / 森本 利弘⑰)

かながわしずくちゃん Twitter は下記 URL で見ることができます。



https://twitter.com/kanagawa_sizuku

◆ 神奈川トヨタ自動車株式会社様

教育担当者向け プリウス森木会活動

日 令和 7 年 3 月 11 日(火) 11:00~16:00 曇り~雨
場 県立 21 世紀の森
参 34 名
県 水源環境保全課 黒田主事、星主事
イ L 岡村⑩、上宮田⑪、西出⑫、牧石⑭、繁山⑱

当日は、朝から曇り空で雨が危ぶまれる天気でした。今回の活動は、間伐体験・森林館展示室見学・木工工作 箸造り・自然観察 と盛り沢山の為、早めに現地確認を開始。一回りし終えたところで参加の皆様集合。参加者の中には外国籍の方とそのご家族もいらして、国際色漂う雰囲気です。

開会式と準備体操後、4 班に分かれ H25 成長の森へ。「20~30cm の苗木が 12 年でこんなに背が高くなったんですよ」と説明すると皆様木立を見上げます。間伐の目的・一連の手順を説明し作業開始。鋸を恐る恐る引く人・力一杯引く人・細やかに枝払いする人・・・それぞれ木を切る体験をしました。



午後 1 番目は、森林館展示室見学。3 班に分かれ、インストラクターの説明を聴きながら見学し、森林保全の理解を深めた様子です。次に木材工芸センターへ移動し、銘々がカンナと紙やすりで箸造り。完成見本を見ながら作り出すと、木を削る音が満ち渡ります。完成に近づく人・先端の形がうまく出せない人、それぞれ出来映えを見合いながら、褒め言葉や笑い声の中、箸造りを終了。最後は、どんぐりコースと金太郎コースの散策。外に出ると小雨が降り出しましたが、足元に気を付けながら歩き出します。特徴ある木々の説明（キンギョツバキ、ムクロジ）、展望台からの眺め（相模湾の海岸線）、地形の特徴（運動広場の標高＝東京タワー、電波塔の標高＝スカイツリー）など会話しながら散策を楽しみました。今日のいろいろな体験と自分で作ったお箸をお土産に、皆様帰路につきました。



(記 繁山 公一⑱、写真 岡村 寛⑯、上宮田 幸恵⑪、繁山 公一⑱)



◆ プレス工業株式会社 様 間伐活動

日 令和 7 年 3 月 14 日 (木) 10:00～12:00 晴れ
場 やどりき水源林
参 5 名 (大人 5 名)
県 神奈川県水源環境保全課 野口技師、星主事
イ L 牧石⑭、岡村⑯

2, 3 日前とは打って変わって春模様となり、1 日中気持ちよく活動ができました。今回、初めてのやどりき水源林で間伐の活動ということもあって、活動開始前にやどりきの成り立ちなどを参加者に雑談を交え説明をおこないました。また、川の水の清らかさに驚いていました。



全員揃ったところで、主催者側の挨拶、準備運動を終えて、「森は水のふるさと」看板前で水源の説明、プレス工業様看板前での記念撮影、倉庫から用具の搬出、装着後をおこなった後、倉庫内に保管されている大きなパネルの間伐手順説明図を活用し、事前に作業手順の説明を行いました。活動現場へ向かう途中、藪椿やツツバキやミツマタの花が見送ってくれました。

現場到着後、再度間伐の意義と作業手順の説明を行い、活動に入りました。選木、倒す方向の確認を行った後、ロープ掛けを行ったが、初めてのせい、やや手こずっていました。受け口作成にはいい、いざ水平切りを始めましたが、鋸はやや斜めになり思うようにいかず苦勞していました。腰を低く落として再度行ったところ、スムーズに水平に切ることができました。次に追い口を作成、ロープ引きにより、目標としていた場所に予定どおり倒すことが出来ました。その後、玉切り、枝落とし等を行い、間伐作業は無事完了することができました。怪我もなく安全に作業することができ、全員満足そうでした。



(記 岡村 寛⑯、写真 牧石 稔⑭)



緑の募金
シンボルマーク



緑の募金キャラクター
どんぐりくん・どんぐりちゃん

かながわ森林インストラクターの会は『緑の募金』の支援団体としても取り組んでいます。全国で 5 番目/NPO 法人で初めて委嘱されています。

シリーズ

『やま』の色々

今月の掲載はありません。
次回掲載は 6 月号です。

やどりき水源林ミニガイド

「やどりき森の案内人」

林道工事に伴い、6月30日まで森の案内人を中止いたします。

<https://www.forest-kanagawa.jp/4field.html#field02>

「やどりき水源林ニュース」

過去号は上記リンク先からご覧になれます。4月号「水温む（みずぬるむ）やどりき水源林へどうぞ！」を掲載しました！



水源林のムササビ

巣箱から眠そうな顔をみせてくれました

森のなかまは過去号もご覧になれます

(ホームページ) <https://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01>
(HP担当：森本 利弘)

◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員読者の皆様から広く募集しています。原稿は随時受付けています。

<広報全般お問い合わせ>

河西 静夫
skasai0618@gmail.com

<電子配信会員向け担当>

小池 宗子
muneko-sakura@outlook.jp

<本誌、別冊原稿送り先>

河西 静夫
skasai0618@gmail.com
小国 一男
ka-oguni@ab.auone-net.jp

受信漏れを防ぐため本誌、別冊とも上記に2名にお送りください

神奈川県ホームページでNPOの活動を掲載するページ

「かにやさんぽ」で当会が紹介されています！

神奈川県のNPO協働推進課より、黒川理事長と佐藤事務局長がインタビューを受けました。詳しくは [かにやさんぽ（NPO法人かながわ森林インストラクターの会）](#) - 神奈川県ホームページ



◇ 編集後記 ◇

★ 森のなかまは、会員の情報共有と楽しく目を通す紙面を心がけています。鳥ごよみの「味噌サザエ」でクスクス（笑）とした貴方、広報部長がやりがいを感じます。ヒアリのURLをクリックした貴方、元広報部長もサポートを惜しみません。⑪吉田氏と⑬小国氏の厳しい校正の目と、⑬大原氏の積極的な配送支援にも感謝です。（小池む）

★ 会報誌の印刷、発送作業のため、横浜にある県の施設にてロッカーを借りています。今年度の更新にあたり、現用の場所から荷物を一時的に撤収することとなりました。

撤収に際して少々手間はかかりましたが、久しぶりに棚卸しをする良い機会になりました。（小国）

★ 待ちに待った「森林探訪ガイドブック」が出版されました。相模川以東のコースは、コース調査の際に、都会の中にこんな豊かな自然があるのかと驚いたとともに、心癒やされるこの自然環境を大切にしていかなければと改めて感じました。

私も編集に携わったコース概要紹介のミニ動画（約3分程度）も是非ご視聴いただき、ガイドブック片手に各コースに足を運んで「かながわ」の自然を楽しんでいただければ幸いです。（森本）

★ 活動短信の投稿規定を変更します。今後は、記録として必要最小限の事項を掲載することにして、よりタイムリーに情報共有していきたいと思えます。これまでのご寄稿をありがとうございました。新たな形式でよろしくお願いいたします！（河西）

やどりき水源林問合せ：（公財）かながわトラストみどり財団

TEL：045-412-2255 / FAX：045-412-2300

<https://ktm.or.jp/> Mail: midori@ktm.or.jp

かながわ森林インストラクターの会

<https://www.forest-kanagawa.jp/> Mail: kinst0981@friend.ocn.ne.jp

年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。

郵便振替口座00230-0-2454 かながわ森林インストラクターの会
宛まで2000円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。振替用紙到着の翌月号から12回／1年間お届け致します。

編集人：河西 静夫

広報部：黒川 敏史、松本 保、
笠原 かずみ、長尾 晴子、小林 照夫、
大友 博道、小国 一男、小池 宗子、
森本 利弘

支援：大原 正志、吉田 郁夫

森林探訪ガイドブック

～ 歩いてみよう! かながわの森林 ～



相模川以西 15コース

※2019年初版発行
「森林探訪ガイドブック」改訂版

1. 辺室山 東丹沢のモミと落葉樹林を訪ねる
2. 飯山観音と白山・順礼峠 大江山麓の尾根歩き
3. 日向薬師と日向山・七沢温泉 木漏れ日の中を歩く
4. 聖峰 里地里山をのんびりと歩く
5. 大磯 鷹取 山と霧降の滝 鷹取神社の社叢林と尾根道と里山を歩く
6. 弘法山 花の縦走路
7. 岳ノ台と柏木林道 表丹沢・ヤビツ峠周辺を歩く
8. 三廻部林道 山村集落・寄の里山をめぐる
9. シダゴ山 虫沢林道、秦野峠林道を歩く
10. 河村城址と洒水の滝 癒やしのスポットをめぐる
11. 矢倉岳 山頂からのパノラマを楽しむ
12. 大雄山最乗寺と花咲く里山 苔むすスギの巨木林を訪ねる
13. 箱根仙石原 仙石原湖尻自然探勝歩道を歩く
14. 箱根湯坂路と滝めぐり 二つの滝を訪れる花ハイキング
15. 真鶴半島 魚を育む森・巨木林と磯を訪ねる

相模川以东 15コース

16. 日連アルプス 県北西に位置する低山 6 峰の植生を楽しむ
17. 津久井湖城山 戦国時代の城跡と豊かな生態系の森を訪ねる
18. 黒川谷ツ公園とよこやまの道 多摩丘陵に残された自然と雑木林
19. 座間谷戸山公園 多様な自然環境を活かした懐かしい風景を楽しむ
20. 泉の森とふれあいの森 シラカシの森と引地川の源流を訪ねる
21. 小出川と茅ヶ崎里山公園 昔の谷戸の暮らしに思いを馳せつつ歩く
22. 舞岡公園・舞岡ふるさと村 谷戸と里山の多彩な自然を楽しむ
23. 横浜市南部の丘陵地 能見堂緑地から横浜自然観察の森へ
24. 新林公園 街中に残る自然豊かな森を歩く
25. 鎌倉広町緑地 多様な動植物が生息する都市林を訪ねる
26. 鎌倉アルプス 散在ガ池から瑞泉寺へ鎌倉の尾根歩き
27. 神武寺と鷹取山 常緑広葉樹の巨木と林床のシダ植物を訪ねる
28. 三浦アルプス 相模湾側から東京湾側へ三浦半島横断の森歩き
29. 仙元山と森戸川林道 海の景色と海岸に近い地域の植物を楽しむ
30. 大楠山 三浦半島最高峰と溪流歩き



かながわの自然を愛する森林インストラクターが力を集結して企画・編集したガイドブックです。
日帰りハイキングや散策のおともに、また自然を楽しむ読み物としてもお勧めします。

A5フルカラー52頁、動植物や史跡等の写真多数、地図、高低差図、ミニ動画ガイド付き。

定価: 相模川以西、相模川以东 各700円(税込)

発行: 特定非営利活動法人かながわ森林インストラクターの会

ご購入・お問い合わせは当会ホームページより承ります。

<https://www.forest-kanagawa.jp> TEL:046-297-0301

